

2024年1月25日

各位

会社名 株式会社キャンバス  
代表者名 代表取締役社長 河邊拓己  
(コード番号：4575東証グロース)  
問合せ先 取締役最高財務責任者 加登住眞  
IR@canbas.co.jp

### 抗がん剤候補化合物CBT005に関する日本大学医学部との研究連携内容拡充・延長のお知らせ

当社は、抗がん剤候補化合物CBT005について、[2023年9月既報](#)のとおり、日本大学医学部総合医学研究所（東京都板橋区）との研究連携を実施しています。

このたび、同研究連携の内容を拡充し期間を延長することとなりましたので、お知らせします。

同研究所の有する膵臓がん自然発症モデルマウス\* にCBT005と免疫チェックポイント阻害抗体などを併用投与して抗腫瘍効果を総合的に検討するこれまでの研究に加え、今回、CBT005と免疫チェックポイント阻害抗体に日本大学から提案のあった新規薬剤（非抗がん剤）を含めた3剤併用の効果に関する検討を新たに開始します。

また、将来の臨床試験を見据え、CBT005の最適な投与方法、投与量、投与間隔も検証していきます。

これに伴い、委託研究契約期間を2025年3月31日まで延長します。

\* 当社は東京大学医学部附属病院との間でも[膵臓がん発症モデルマウスを用いた共同研究](#)を実施していますが、今回のモデルマウスは遺伝子変異の一部が異なるものです。  
がん組織におけるがん細胞の遺伝子変異は多様であるといわれており、幅広いがんへの効果を総合的に検討できると期待しています。

CBT005は、当社の基礎研究から創出された次世代開発パイプライン候補化合物です。

樹状細胞やマクロファージなどの貪食細胞（標的細胞を取り込み、得られた抗原を攻撃対象あるいは非攻撃対象としてリンパ球に提示する役割を持つ）の活性化を促し、自然免疫と獲得免疫を刺激することを期待しています。

各種動物実験において有望なデータが得られていることから、[2023年10月25日に既報](#)のとおり、当社はこれを前臨床試験（ヒトを対象とする臨床試験の開始を申請するために必要なデータを取得する動物試験）へ進める旨を決定しています。

この委託研究契約に基づき当社は、研究に使用する薬剤等の物品提供のほか、直接研究経費・管理経費を負担しますが、この金額は日常的な基礎研究費の範囲内であり、本件による当期業績への影響は軽微です。

一方、この委託研究を通じ、当社の企業価値の源泉である開発パイプラインの拡充による中長期的な企業価値の向上に寄与することが期待されます。

以上